

地域貢献プログラム「この指とまれ！プロジェクト」選定基準

一般財団法人銚子円卓会議（以下「円卓会議」という。）は、域内外の個人及び企業等からお預かりした寄付金をもとに、地域貢献プログラム「この指とまれ！プロジェクト」（以下「この指とまれ！プロジェクト」という。）を実施し、地域における公益的な活動を支援している。

支援先となる団体等の選定にあたっては、選定委員会（以下「委員会」という。）が、次の基準により審査を行うものとする。

1 評価基準

① 公益性(Public Value)

寄付という公共的資源を用いるにふさわしい活動であるか。

特定の個人・団体の利益にとどまらず、地域社会に開かれた価値を生み出しているか。

② 地域性(Local Relevance)

地域の歴史・文化・資源・課題と、必然的につながる活動であるか。

どこでもできる活動ではなく、この地域だからこそ意味があるか。地域らしさを伝えているか。

③ 必要性(Social Need)

地域の現状や課題に照らし、いま取り組む意義が明確な活動であるか。

自己目的化しておらず、社会的な必要性が説明できるか。

④ 発展性・波及性(Impact & Spillover)

活動の成果が一過性に終わらず、他者や他分野へと広がる可能性があるか。

人・知恵・関係性が次につながる設計になっているか。

⑤ 実現性(Feasibility)

計画・体制・資源配分が現実的で、寄付を活かしきる力があるか。

無理のない計画で、説明責任を果たせるか。

⑥ 継続性(Sustainability)

寄付に依存しきらず、中長期的に活動が育っていく見通しがあるか。

人材・財源・運営の面で持続可能性が考えられているか。

⑦ 先導性・挑戦性(Innovation)

従来の枠組みにとらわれず、新しい価値や関係性を生み出そうとしているか。

失敗も含め、地域に学びを残す挑戦であるか。

2 選定方法

(1) 評価の方法

前項の評価基準に基づき、委員がそれぞれ採点を行う。

(2) 評価区分

評価基準ごとに、別紙審査表に定める 5 段階評価により採点する。

(3) 選定基準

獲得点数の合計が下記の基準点以上である団体等を、支援団体等として決定する。

▶ $100 \text{ 点満点} \times \text{選定委員数} \times 0.6$ (1 点未満の端数は切り上げ)

(4) 結果の報告及び公表

委員会は、選定結果を円卓会議に報告するものとする。

支援団体等は、円卓会議のホームページその他適切な方法により公表する。